

18

# 炎の美通り

滋賀県信楽町大字長野

信楽町は、県の最南端、標高三〇〇メートル前後の高  
原性地帯に位置し、町内を大戸川や信楽川が貫流する緑  
多い清澄な街である。本町は、二二〇〇年の伝統を誇る信  
楽焼と日本一の香りをもつ朝宮茶という二大地場産業を  
有し、国際工芸都市としても全国に名を知られている。

〔文化・観光〕紫香楽宮跡、玉桂寺、飯道山、信楽陶器  
まつり（七月第四金曜日から三日間）、日雲神社太鼓お  
どり（九月四日）



信楽町は伝統産業信楽焼とともに発展  
してきた町であり、特産である信楽焼を  
素材として活用し、景観にそくした「焼  
きものを生かした町づくり」をすすめて  
いる。

その先がけとして、町の中心部を流れ  
る信楽川沿いの町道を、「炎の美通り」  
として整備した。

整備の内容としては、幅三メートルの  
歩道を設け、信楽焼タイルで路面舗装を  
し、車道との間には植栽による緩衝帯を  
設定、照明灯や陶製ガードポストを設置  
している。

これらの整備によって、老人クラブに  
よる植栽への散水や手入れ、歩道の清掃  
など魅力ある町づくりへの住民参加がう  
ながされてきた。

愛称は公募により、火祭り見学に最適  
な場所であることから、炎の美通りとし  
た。